

# 山形県教育、学術及び文化の振興に関する施策の大綱

## I 策定の根拠と趣旨

- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定に基づき、山形県総合教育会議での協議を経て、知事が策定したものです。
- 本県の教育、学術及び文化等の振興に関する施策の基本的な方針を定めます。
- 基本的な方針に基づき推進していく施策の展開の方向を示します。

## II 大綱の期間

- 令和7年度から令和11年度までの5年間とします。

## III 策定に当たっての考え方

- 「第4次山形県総合発展計画 長期構想」の「県づくりの推進方向」及び「後期実施計画」における、教育、学術及び文化等に関する施策を基礎に、6つの「基本的な方針」として取りまとめました。

## IV 基本的な方針

### 1 知徳体が調和し、山形の未来を切り拓く力を育む教育の推進

- 基礎学力や応用力、自ら主体的に学ぶ力や他者と協働する力、健やかな心や体等、知徳体を育む教育を充実する。
- グローバル化に伴う多文化共生社会の進展や急速なデジタル化、頻発・激甚化する災害への対応など時代の変化や地域の課題に対応した教育を充実する。
- 高校における地域や企業・大学等と連携した特色ある教育や、大学等における高度・専門的な教育を充実強化する。

### 2 包摂性や寛容性の高い共生社会の実現に向けた教育の推進

- 多様性を尊重し、他者と協働していく力を育成するため、自分も大切にし他人も思いやる心、生命や人権を尊重する心、正義感や公正さを重んずる心など、思いやりの心と規範意識を育む教育を推進する。
- 障がいなど様々な事情を抱える子どもたちが、社会の中で多様なつながりを持ち、いきいきと暮らせる、一人ひとりの個性と能力を伸ばす特別支援教育を充実する。
- 不登校や家庭環境など様々な事情を抱える子どもたちへの支援を充実する。

### 3 郷土愛や地域への興味・関心を育む教育や体験活動の推進

- 郷土を学ぶ学習や食、自然環境、文化財や先端技術などの本県が有する資産を活用した教育を充実する。
- 地域づくり活動への参画や外国人との異文化交流、職場体験やインターンシップなど、学びの動機付けにつながる多様な体験活動の機会を充実する。
- 県内大学等と連携して、魅力的な学びの場を創出するとともに、中学・高校と県内大学等との連携を強化し、若者の県内進学を促進する。
- 産業界等と連携して県内企業への就職を促進するとともに、県内への回帰・定着や高校への県外生受入れに向けた情報発信等を強化する。

### 4 新たな学びを拓く教育DXの推進

- オンラインによる外国語教育や遠隔授業の充実、デジタル教科書の活用など、教育の質を向上するデジタル技術の利活用を推進する。
- AIを始めとするICTに関する知識、技術やICTのリテラシーに関する教育を充実する。

### 5 家庭や地域とともに子どもの成長を支え合う教育環境の充実

- 学校・家庭・地域や企業等の連携・協働により、地域をフィールドとした学びの場の創出や家庭教育支援等の教育活動を充実するとともに、地域コミュニティの核としての役割を踏まえた活力ある学校づくりを推進する。
- 教職員の資質向上を図るとともに働き方改革を推進する。
- 学校施設の老朽化、長寿命化対策等を推進するとともに、学校安全体制の充実を図る。
- 時代の変化に対応した教育を展開するため、産業教育分野等の教育環境整備を推進する。

### 6 生涯にわたり学びや文化芸術・スポーツに親しむ機会の充実

- 社会教育施設の機能の充実等、生涯学習の環境づくりを推進する。
- 文化芸術・スポーツ活動の充実やこれらを活かした交流促進、地域活性化を図る。

## 本県教育を取り巻く社会経済状況

- 人口減少の加速化
- 気候変動と自然災害
- グローバル化の進展と国際環境の複雑化
- 不確実な時代性
- 共生社会・社会的包摂
- Society5.0の到来

## 第6次山形県教育振興計画期間の現状

- 探究型学習の拡大
- 併設型中高一貫教育校の設立
- 不登校児童生徒の増加
- 教員志願者数の減少
- 授業でのICT利用の低さ

## 今後を見据えた課題

- 予測困難な時代を生き抜くための変化に対応できる力の育成
- 多様な個人を尊重し、包摂社会に寄与する態度・姿勢の育成
- DXや少子化、地域との連携等、様々な変化に対応した学びの環境整備

※ 取組みは主なものを抜粋

# 【目標】 ウェルビーイング※を目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う山形の人づくり

※ 身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず将来にわたる持続的な幸福を含むとともに、個人だけでなく、地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念。

## <ウェルビーイングを目指すために>

県民みんなが自分の力を活かしながら、**「挑戦（チャレンジ）」**していることが重要

## <目指す社会>

◎ 異なる立場や考え、価値観を持った人々が豊かに生き生きと暮らす中で、

- 子どもは、学校の中だけでなく、社会の中で交流し、ワクワク感（意欲、興味、関心）を持って自ら選択し学び合っている
- 大人・家庭は、互いを尊重する姿を見せ、子どもの試行錯誤を見守り、挑戦できる環境をつくっている
- 地域等は、一人ひとりの違いや個性を認め、それぞれに応じた多様な学びの場や安全・安心な環境を提供している

# 【県民の皆様へ（メッセージ）】 県民一人ひとりが自分事としてとらえ、それぞれの役割を果たしながら前向きに取り組むことが大切。

子どもが様々な「体験」を通してものごとを「探究」し、お互い「尊重」「協働」しながら成長していけるよう目指すべき行動や考え方を例示し、県民の主体的な教育活動を促進

## ● 子どもたちへ

- ・ 学ぶ楽しさや意味を知る
- ・ 失敗を恐れず、様々なことをやってみる
- ・ 自分を大切にするとともに、他者を尊重する など

## ● 保護者、家庭の皆様へ

- ・ 家庭は子どもの学びや社会性を育む原点となる
- ・ 子どもが自分で育つ力を信じ、見守りながら困った時は手を差し伸べる
- ・ 家庭は子どもが安らげる場所とし、自分を大切にするとともに他者を尊重する など

## ● 地域、企業・NPOの皆様へ

- ・ 画一的な学びから個別最適な学びへの変化を認識する
- ・ 学びの場は学校以外に広がり、地域や企業、社会全体が主体的に参画し提案する など

## 方針Ⅰ 一人ひとりが自分らしく可能性にチャレンジできる学びを実現する

### アクション 1 自ら考え、主体的に行動する力を育む

- 1 確かな学力の育成
  - ・ AIにより学習状況を把握するシステムの活用【新規】
  - ・ 「さんさん」プランによるきめ細やかな教育の展開
  - ・ ICTを活用した探究学習の推進
- 2 キャリア教育の充実
  - ・ 企業や大学等と連携した職場体験等の実施
  - ・ 県内大学進学・就職の推進

### アクション 2 新たな価値を創造する力を育む

- 3 グローバル社会の人材育成
  - ・ 留学生や地域外国人との異文化交流機会の拡大【新規】
  - ・ 海外高校との交流等、グローバル産業人材の育成
- 4 イノベーションを担う人材育成
  - ・ 企業等と連携した起業家教育の推進【新規】
  - ・ 大学や企業との連携等による理数教育の推進

### アクション 3 互いを尊重し前向きに生きる心と体を育む

- 5 豊かな心の育成
  - ・ 親子自然体験、地域学習等による感性や郷土愛の育成
  - ・ 地域活動・ボランティア等体験機会の充実
- 6 健やかな体の育成
  - ・ 関係機関と連携した現代的な健康課題の解決【拡充】
- 7 社会に参画する当事者意識の醸成
  - ・ 関係機関との連携による主権者教育・消費者教育の推進

## 方針Ⅱ 誰一人取り残されず、誰もが続けられる学びの機会を充実する

### アクション 4 それぞれの個性を活かし尊重した学びを実現する

- 8 特別支援教育の推進
  - ・ 医療的ケア児の支援の充実と環境整備【拡充】
  - ・ 就労支援コーディネーターによる就労支援の充実
  - ・ 他校通級や巡回通級の推進
- 9 様々な事情を持つ子どもへの対応
  - ・ フリースクール等の利用支援やメタバースの活用等、不登校児童生徒の学びの機会の確保【新規】
  - ・ 経済的困難を抱える家庭等への就学支援

### アクション 5 生涯にわたり学びやスポーツ・文化芸術活動を楽しむ

- 10 生涯学び、活躍できる環境整備
  - ・ 外国人や学齢期を過ぎた方の学びの機会となる夜間中学の設置検討【新規】
- 11 地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進
  - ・ 社会教育機関における親子自然体験や多様な講座開催等
- 12 スポーツ・文化芸術活動を通じた心身の育成
  - ・ スポーツに親しみ、楽しむ機会の創出
  - ・ 文化芸術団体等との連携による鑑賞・体験機会の創出

## 方針Ⅲ 社会の変化に対応した学びの環境を整える

### アクション 6 教育DXを実現する

- 13 デジタル人材の育成とICTの活用
  - ・ 県立高校における遠隔教育の推進【拡充】
  - ・ 1人1台端末の活用による情報活用能力の向上
  - ・ 研修等による教員のICT指導力の向上
- 14 ICT環境の整備
  - ・ 教育情報ネットワークの高速化、クラウド化による多様な教育の展開【拡充】

### アクション 7 活力あふれる学校を実現する

- 15 指導体制の強化
  - ・ 外部人材活用促進に向けた登録システムの構築【新規】
  - ・ 大学と連携した教員養成、教員研修の充実
- 16 教育環境の整備
  - ・ 県外生受入れ推進【拡充】
  - ・ 地域の状況に応じた特色ある学校や学科等の配置
  - ・ 県立学校の施設・設備の整備
- 17 児童生徒等の安全確保
  - ・ 地域学校安全指導員の配置等

### アクション 8 家庭や地域と一体となって学びを支える

- 18 学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上
  - ・ 市町村と連携・協働による小規模高校等の魅力化の推進【拡充】
  - ・ 産業界との連携・協働による産業系高校の教育の充実
- 19 NPO・企業・大学・地域団体等との連携・協働
  - ・ 教育の協力企業認証制度の創設等インセンティブの付与【新規】